

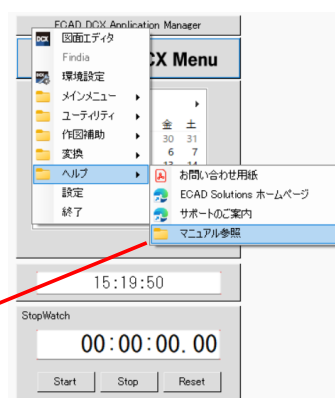
ECAD DCX 2026 新機能解説

<本書について>

本書『ECAD DCX 2026 新機能解説』は、新機能の中でも特に利用頻度が高いと思われる項目について、図を交えながら詳しく解説した資料です。なお、本書は株式会社ECADソリューションズの監修を受けておらず、有限会社システムウイングの責任において作成されています。もし誤りや記載漏れなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

新機能の全体像を把握するため、本書を読む前にECAD DCX Menu」の「マニュアル参照」より『ECAD DCX 機能追加変更ガイド 2025→2026』をご覧ください。

- DCX機能追加変更ガイド(2023→2024).pdf
- DCX機能追加変更ガイド(2024→2025).pdf
- DCX機能追加変更ガイド(2025→2026).pdf**
- DCX機能追加変更ガイド(R1→R2).pdf



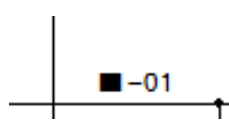
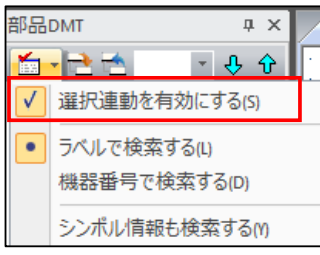
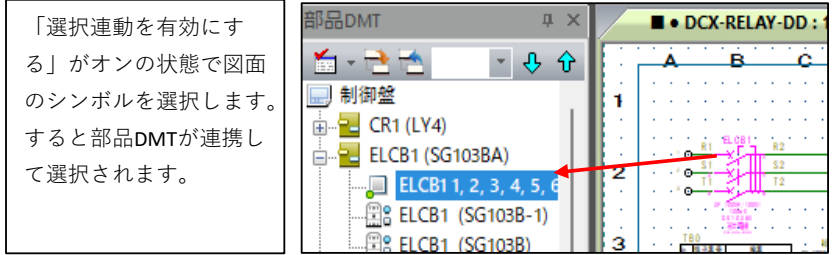
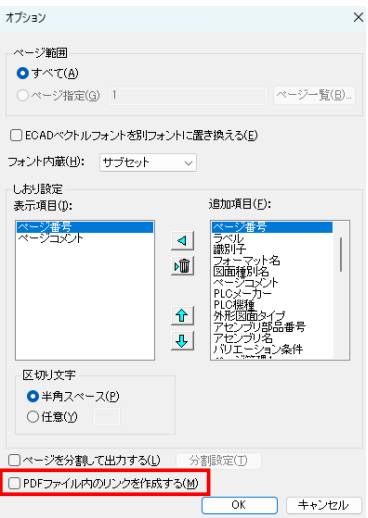
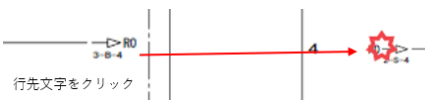
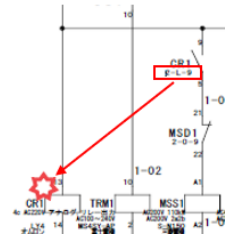


ECAD は株式会社ECAD ソリューションズの登録商標です。

その他に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

2026年4月

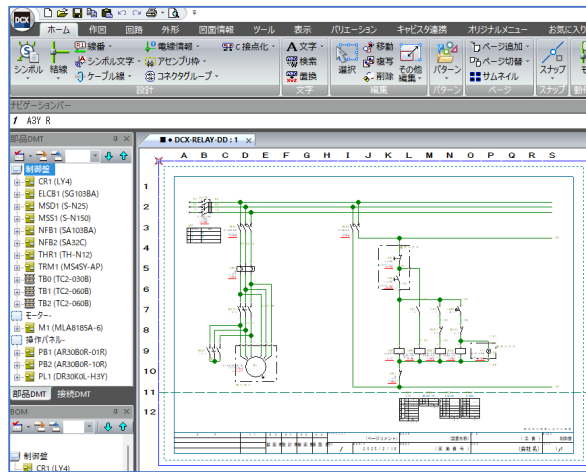
制作 有限会社システムウイング

1	<p>@線番の置き換え記号の改善</p>
	<p>印刷時に@線番をシートNoや△に置き換える機能がありますが、△以外の記号に置き換えることができるようになりました。</p> <p><STEP1> ここでは例として「印刷情報」で@部分を■記号にします</p>   <p><STEP2> 印刷又は印刷プレビューを行うと@部分が■に置き換わります。</p> 
2	<p>部品DMTの「選択連動を有効にする」の初期値をオンにしました。</p>
	<p>DCX2025までは初期値をオフにしていたが多数の利用者がオンで使用していることから初期値をオンにしました。既存図面はDCX 2026にバージョンアップしても状態は引き継がれます。</p>  <p>「選択連動を有効にする」がオンの状態で図面のシンボルを選択します。すると部品DMTが連携して選択されます。</p> 
3	<p>PDFファイル内のリンクを作成する</p>
	<p>リンクをPDFに作成するかどうかを設定できるようになりました。「オプション」ダイアログの「PDFファイル内のリンクを作成する」のチェックボックスで行います。リンクが不要な時はチェックを外します。そうすることで出力時間が短縮できます。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>リンク機能</p> </div> <p><渡り元をクリックして渡り先へジャンプ></p>  <p>行先文字をクリック</p> <p><接点をクリックしてコイルへジャンプ></p> 

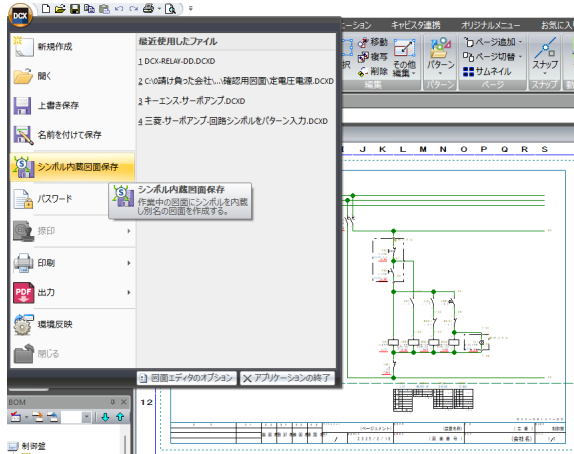
4 シンボル内蔵処理の操作性改善

これまでは「シンボル内蔵処理」を行うには一旦、図面を閉じて行う必要があり少々面倒を感じていたのではないのでしょうか。今回の操作性改善により、図面を開いたままシンボル内蔵図面を保存できるようになりました。さらに、保存時にファイル名を変更することも可能です。

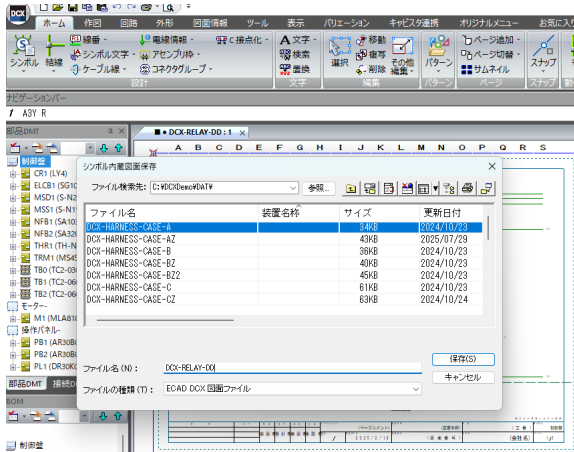
<STEP1> 図面は開いた状態です



<STEP2> アプリケーションボタンから「シンボル内蔵図面保存」を選択します



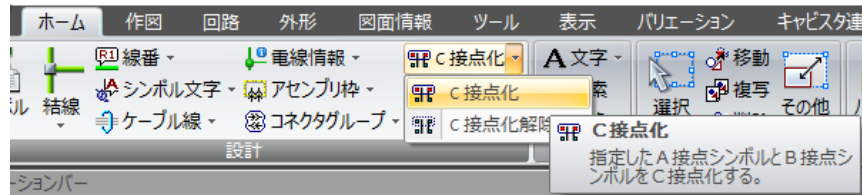
<STEP3> 保存するフォルダを選択して「保存」します。必要に応じてファイル名を変更します。



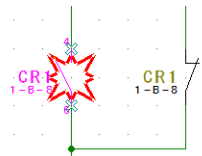
DCX2025 までは、A 接点・B 接点を C 接点化するには、シンボルグループ ID に共通の値を登録する方法しかありませんでした。DCX2026 では新たに「C接点化」コマンドと「C接点化解除」コマンドが追加され、これにより C 接点化および解除を、より簡単かつ直感的に行えるようになりました。

C接点化

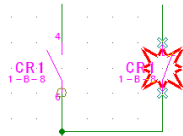
<STEP1> C接点化コマンドを起動



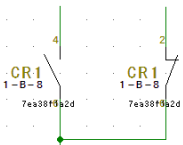
<STEP2> C接点を構成する片方の接点を選択。続いてコモン端子を指定します



<STEP3> もう片方の接点を選択。続いてコモン端子を指定します

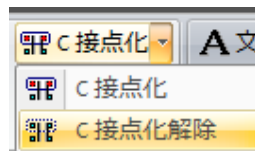


<STEP4> システムが独自の計算式で共通のシンボルグループIDを設定します。
これでC接点化完了です。

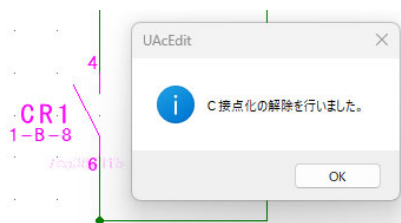


C接点化解除

<STEP1> C接点化解除コマンドを起動します。



<STEP2> C接点を構成する片方を選択して決定するとC接点は解除されます。



<アセンブル枠をユニット扱いした部品の問題点>

アセンブル枠をユニット扱いにすると、その枠自体を「部品」として扱うことができます。しかし、通常の回路シンボルとは異なり、設定できる部品情報は機器番号のみで、形式・メーカー名・定格といった詳細情報を持たせることができないという制約があります。

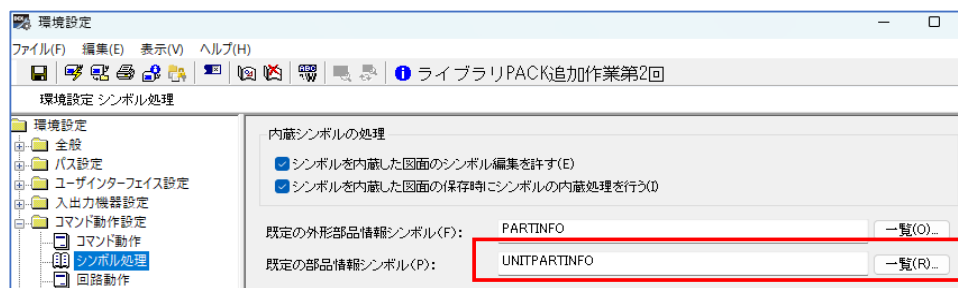
そのため従来は、この不足を補うために、機器番号以外の情報（形式・メーカー名など）を持つ部品情報シンボルを手動で読み込み、別途配置するという運用で対応していました。

<DCX2026での改善点>

DCX2026では、部品情報シンボルをあらかじめ環境設定に登録しておくことで、アセンブル枠の作図と同時に、対応する部品情報シンボルを自動で読み込めるようになりました。これにより、従来のように部品情報シンボルを手動で配置する必要がなくなり作業効率が大きく向上します。

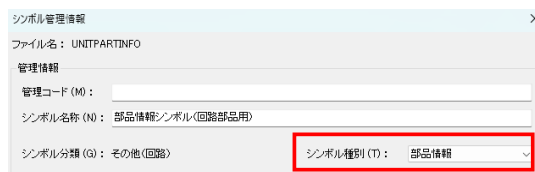
続いて、この機能を利用するための手順を説明します。

<STEP1> 環境設定に部品情報シンボルのファイル名を設定します

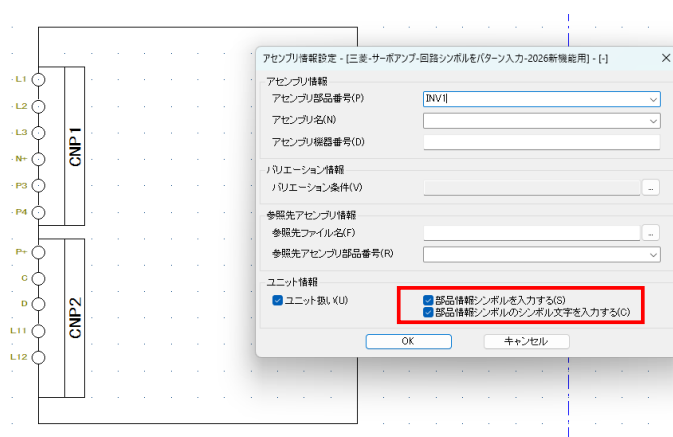


※部品情報シンボルはDCX2026のサンプルデータに含まれています。（...¥DCXDemo¥SysSym¥）

※部品情報シンボルのシンボル種別は「部品情報」です。

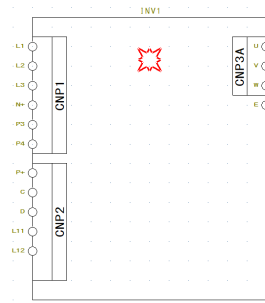


<STEP2> アセンブリ枠を書いて、ユニット扱いにチェックを入れます

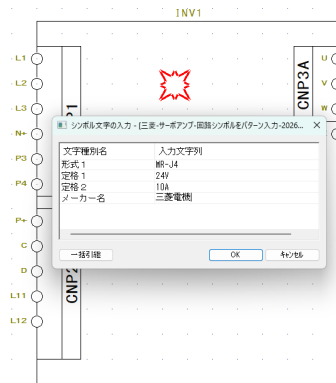


- ・「部品情報シンボルを入力」にチェックを入れると、次のSTEP3で部品情報シンボルが自動で読み込まれます。
- ・「部品情報シンボルのシンボル文字を入力する」にチェックを入れる、STEP3に続いてSTEP4→STEP5に進みます。ここでチェックを入れなければSTEP3に続いてSTEP6に進みます。

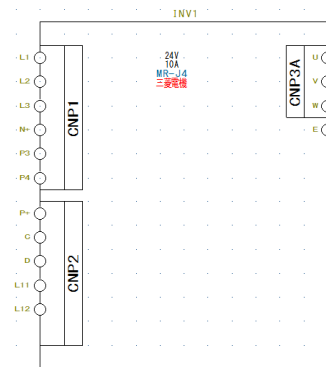
<STEP3> アセンブル枠に機器番号が配置します。続いて機器番号以外の部品情報を配置する場所を指定します。



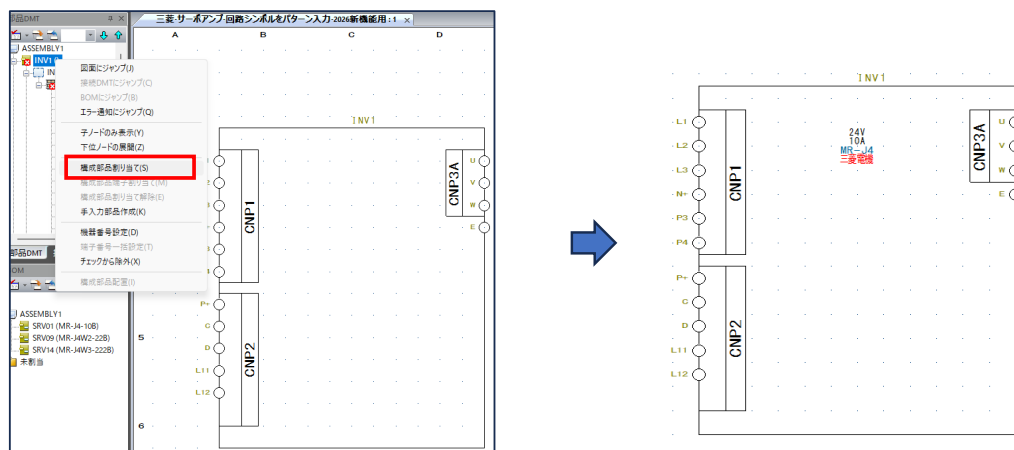
<STEP4> 自動で読み込まれた部品情報シンボルを配置した後に「シンボル文字の入力」画面になります。



<STEP5> 部品情報シンボルに型式、メーカーなどの部品情報が入力されました。



<STEP6> 「構成部品割り当て」で構成部品マスターから部品情報を転記することができます。



9 ECAD DCX 2026セットアップメニューに「構成部品データ編集ツールをインストールする」が追加されました。

「構成部品データ編集ツールをインストールする」ボタンを押すと、インストールする製品を選択するダイアログが表示されます。

10 ECAD DCX MENUのユーティリティメニューに「構成部品データ編集ツール」が加わりました。

※構成部品データ編集ツールがインストールされていない場合は、メニューは無効になります。

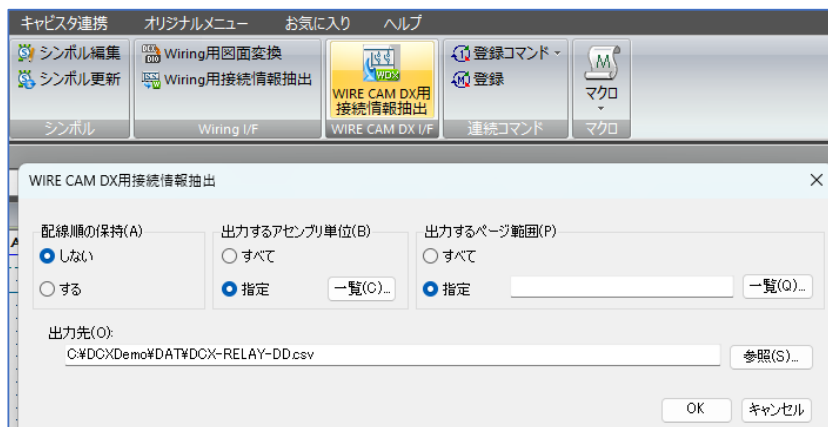
11 構成部品データ編集ツールにECAD Library取り込みコマンドを追加しました。

これによりECAD Libraryの部品データを構成部品データ編集ツールへ直接取込むことができるようになりました。

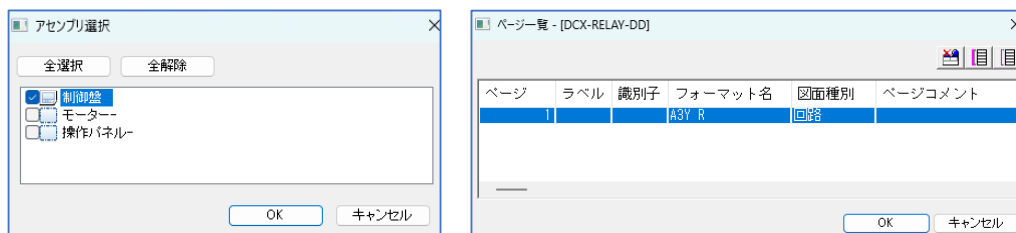
出力	管理コード	大分類	メーカー	小分類	部品名称	部品番号	記号固定	形式	定格1	定格2	定格3	定格4
1	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-SEWMB				
2	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-SEWMB				
3	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-HEWMB				
4	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-HEWMB				
5	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-ZEWMB				
6	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-ZEWMB				
7	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-SEWMB				
8	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-SEWMB				
9	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-HEWMB				
10	EHY010920	配線用遮断器	三菱電機	MDUブレーカ	配線用遮断器			NF400-HEWMB				

12

WIRE CAM DX用接続情報抽出コマンドで、抽出するアセンブリとページを選択できるようにしました。



出力するアセンブリ単位と出力するページ範囲の一覧ボタンを押すと、下記のようなダイアログを表示して、出力範囲を指定することができます。



13

ライセンス管理サーバーのクラウド対応

クラウド上に構築した仮想サーバーを、ライセンスサーバーとして利用できるようになりました。これにより、従来のオンプレミス運用では得られなかった、次のようなメリットが期待できます。

- ① ライセンスサーバ用としてWindowsServerを物理的に社内に用意する必要はありません。
- ② ライセンスをサーバから切り離すことなく社外でもECADを使用できます。
※ただし、安定したインターネット接続が必須です。
- ③ 扱うデータ量によりますがコストは物理サーバより安く抑えられます。データ量が多くなれば逆にコストは高くなりますので要注意です。（料金体系はクラウド各社の仕様に準じます）
- ④ 現時点で動作確認しているクラウドサービスは、Amazon AWSとMicrosoft Azureです。

14

その他の新機能

以下の新機能に関しましては商品添付の『ECAD DCX 機能追加変更ガイド 2025→2026』をご覧ください。

- ・ ライセンス管理システムの改善
- ・ AutoCAD 2026対応
- ・ シンボルファイルの強化
- ・ TIFFファイルの圧縮方式の整理
- ・ 電気図形変換
- ・ 点端点／直線端点／円端点

ECAD DCX 2026 新機能解説

製作元
〒984-0821
宮城県仙台市若林区中倉3丁目9-15
AIマンション大和402
株式会社システムウイング
TEL : 022-781-6437 FAX : 022-781-6438
E-mail : info@msj-wing.co.jp